



「沈黙の教育と説明の教育」

靴は脱ぎっぱなし、読んだ本は出しっぱなし、オヤツのお皿やフォークは放りっぱなし、聞くだけで行わなければ聞きっぱなし、これは家庭の影響といわれますがどうでしょうか。けれども、躰られなくても、「～ぱなし」でない子もいます。これも家庭の影響で「沈黙の教育」といいます。「説明の教育」と「沈黙の教育」と有効に使いたいものです。

「見る」

「見て、見て鉄棒出来るようになったよ」


子どもは見てもらい、ほめられることで上達します。秋に向けて行事がいくつか予定されておりますが、行事をきっかけに大きく成長します。できないことよりも、できたことに目を向けることが大切です。聖書の言「悔い改め」は「視点を変える」という意味です。子どもを見る目、社会を見る目、世界を見る目、視点を違う角度から見る時、今迄見えなかったことが見えてきます。




「宮沢賢治」

賢治が見上げたのは、「夜空」です。彼はしばしば一人で夜の山道を歩き回り、星を見上げていました。そして太陽と星が一つの宇宙であり、銀河系はエネルギーに満ちており、進化することを洞察しました。これが壮大なメルヘン「銀河鉄道の夜」へと展開していきます。みなさんはどのような空を見上げていますか。夏の夜空をベランダで見上げ、お子さま（夫婦でも可）と語り合うことをおすすめします。

~~~~お知らせ~~~~



0才・1才の保育も行っています。どうぞご利用ください。  
 時間預かり、月極保育お気軽にお問合せください。  
 (3日前までに要予約) 76-3522 まで



【聖書の言】

「祈り」



“Exile”（イグザイル）といえば、歌って踊れるグループを想像するかと思います。英語で“Exile”というと「捕囚」を意味し、聖書のバビロン捕囚から来ています。バビロニアの首都バビロンに捕囚の民として連れてゆかれたイスラエルの民が必死に祈りつづけ、やっと解放された出来事を通じて、非論理的な祈りの大切さを教えています。

「平和つくり出す人」

昭和20年8月15日を体験した人が、だんだん少なくなっています。体験者が語るの「日本が敗けたとはどういうことか分からなかったが、空から怖い物、爆弾が落ちてこないことが嬉しかった」と言います。「安心な空」を世界中の子ども達に保証してあげたいものです。聖書の教えに「平和をつくり出す人は幸いなり」というのがあります。今の幼児が10年後、20年後、30年後に「平和をつくり出す」実を結ぶことを願っての幼児教育です。

☆教会礼拝にお誘いします。

8月 9日（日）午前10:00～11:00 諸川教会

9月13日（日）午前10:00～11:00 諸川教会

☆毎月第2日曜日に行っています。ご参加自由です。  
 ご出席をお待ちしております。

